

【学校教育目標】 「学びのえがお」いっぱい 西唐津小



きんぼし

唐津市立西唐津小学校
学校だより 第5号
令和7年 4月17日(木)
文責: 校長 古川 雅

そろそろ疲れが出てくるころ

新学期が始まって、間もなく10日が経とうとしています。新学期、緊張して登校していた子どもたちもクラスに慣れ、疲れを感じ出す頃です。お休みする子どもたちも増えてきました。また、この頃の寒暖の差の激しさに、大人も体調を崩すことが増えているようです。しかし、1年生はは元気に登校を続けています。2日目も教室で元気一杯でした。

16日、登校中の様子から



朝日がまぶしい中、子どもたちの登校の様子です。

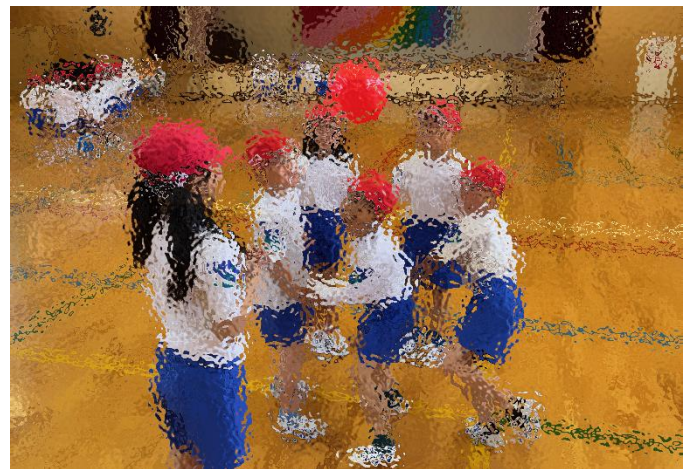
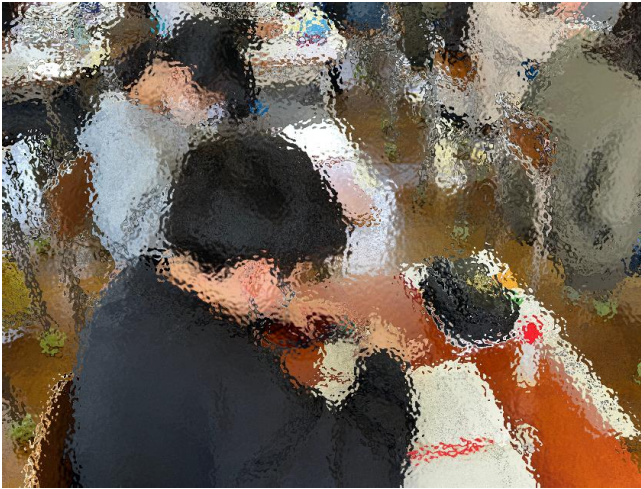
学校の坂の下にそれぞれの方向から子どもたちが登校してきます。周りの車に注意しながら（朝は、ほとんどの車が急いで走り抜けていきます）、友達を見かけると道路越しに話をしたり、横断歩道に近寄ったりして、坂を上っていきます。





16日、授業中の様子から

2年生は風船を使って、グループで体を動かしていました。グループで手を放さずに、風船を落とさないように動いていたようです。体育館中に2年生の元気なかけ声が響いていました。一生懸命な表情がいいですね。



6年生は、「線対称」の学習を行っていました。プリントに線対称になるよう図形を作成していました。みんな顔を上げることもなく、真剣に作図に取り組んでいました。

4年生は、国語の音読をグループで行っていました。それぞれのグループで一人が教科書を音読するのを、周りが一生懸命に聴いていました。

